

事業名：学校図書館事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校図書館の図書の新規購入・更新

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	図書購入冊数	冊	10,489	9,073	7,714	8,096
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	1,207	1,204	2,260	2,122

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校図書館の蔵書の充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	蔵書率	%	92.8	95.7	95.1	97.4
成果指標 2	学校図書館図書標準蔵書冊数達成校割合	%	36	52	56	68

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	17,685	16,361	14,758	14,758
正職員人件費 (B)		千円	3,051	3,075	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	20,736	19,436	17,854	17,799

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	図書及び書架の購入	・ 図書購入費	小学校 8,503千円 中学校 4,133千円
		・ 書架購入費	小学校 820千円 中学校 160千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：教育研究会事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	604	595	604	604
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	5,200	5,200	5,200	5,200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教職員の資質を向上させるための研修会等を開催する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	研修会等開催日数	日	171	134	31	153
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	5,200	5,200	5,200	5,200
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	5,963	5,969	5,974	5,960

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 5,200千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・スキー授業を受ける小中学校児童生徒
- ・ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	5,273	5,932	5,387	5,350
対象指標 2	ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数	人	0	996	923	908

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。
- ・ファースト・コンサートに参加するために、学校が借り上げるバス賃借料を負担する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	154	155	164	163
活動指標 2	借上したファースト・コンサート事業のバス台数	台	0	26	0	31

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スキー授業実施に係る保護者の負担軽減により、スキー授業の円滑な実施を図る。
- ・ファースト・コンサート参加に係る保護者負担を軽減し、参加を促進することにより、教育活動の充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	5,273	5,932	5,237	5,350
成果指標 2	ファースト・コンサート事業に参加した児童の延人数	人	0	938	0	908

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	11,830	14,116	16,075	16,066
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	14,118	16,422	17,623	17,586

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	・小中学校がスキー授業等の実施にあたり、1回分のバス賃借料を負担する。 ・小学校がKitaraファースト・コンサート事業に参加するにあたり、バス賃借料を負担する。	スキー授業等 ・小学校 9,823千円 ・中学校 3,770千円 Kitaraファースト・コンサート事業 ・小学校 1,828千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市教育研究所事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究所

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	研修会等開催回数	回	2	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市の教育研究の進展と充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	研修会等参加者数	人	438	470	38	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,388	2,287	2,687	2,828
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	3,913	3,824	4,235	4,348

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供</li> <li>教育相談、研修及び関係各機関との交流</li> <li>教育研究所所報等の出版</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究所運営経費</li> <li>教職員セミナー等研修会開催経費</li> <li>家庭向けリーフレット作成経費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2,396千円</li> <li>182千円</li> <li>61千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：特別支援学級生活介助事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童・生徒数	人	219	240	257	270
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

特別支援学級を設置している小中学校に特別支援教育支援員を配置する。又、特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	特別支援教育支援員（特別支援学級）数	人	34	35	33	35
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	100	105	111	105

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

一人ひとりの教育的ニーズに則した支援の実現を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	教職員（特別支援学級教員及び介助員）1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.63	1.71	1.78	1.93
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	49,165	50,136	55,562	55,532
正職員人件費 (B)		千円	25,932	4,228	3,871	3,801
総事業費 (A+B)		千円	75,097	54,364	59,433	59,333

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員（特別支援学級）の配置</li> <li>特別支援学級の運営等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員（特別支援学級）報酬等：52,467千円</li> <li>特別支援学級等の運営経費（消耗品）：2,180千円</li> <li>特別支援教育に必要な器具等の購入費：182千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,654	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。  
給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やJA道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を導入する。  
「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	201	183	180	201
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。  
児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	37	41.5	50	50
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	246,412	246,174	265,932	268,868
正職員人件費 (B)		千円	122,032	122,992	123,856	117,831
総事業費 (A+B)		千円	368,444	369,166	389,788	386,699

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理場運営、維持管理費用</li> <li>配膳員をはじめとする給食関係職員の人件費</li> <li>給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費</li> <li>江別市学校給食会運営費への補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配膳員等報酬 74,744千円</li> <li>重油代 22,175千円</li> <li>電気料 16,503千円</li> <li>水道料 12,912千円</li> <li>学校給食配送業務委託料 49,019千円</li> <li>江別市学校給食会運営費補助金 16,725千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：遠距離通学送迎事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

遠距離通学が必要な児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	122	112	112	102
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

登下校の予定時間に合わせ、委託先の会社がスクールバス及びスクールタクシーを運行し、児童生徒を送迎する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	4,178	3,692	4,100	4,400
活動指標 2	利用児童生徒数	人	122	112	108	102

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

居住する遠隔地から学校までの間を、安全に通学させる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2	事故等により、スクールタクシーを運行できなかった便数	便	0	0	0	0

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	51,852	47,983	56,050	57,600
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,871	3,801
総事業費 (A+B)		千円	55,666	51,827	59,921	61,401

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	スクールバス及びスクールタクシーの運行	・小学校	15,400千円
		・中学校	42,200千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 中文連・中体連各種大会参加補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）  
江別市中学校体育連盟（中体連）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,533	3,506	3,523	3,525
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校文化連盟及び江別市中学校体育連盟に対して、大会に参加するための経費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	14,803	14,339	2,129	12,814
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	大会参加者数	人	2,857	2,684	2,652	2,652
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	14,803	14,339	12,814	12,814
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	16,328	15,876	14,362	14,334

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	中文連、中体連の各種大会や発表会に参加する経費の一部を補助する。 補助対象となる大会や発表会 ・中文連の吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の市内大会、管内大会、北海道大会、全国大会	・中文連参加補助金 2,763千円 ・中体連参加補助金 10,051千円	

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--



事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の高校生

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市内在住の高校生数	人	3,722	3,649	3,864	3,931
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 奨学資金申請者数	人	9	7	3	12
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 奨学資金貸与認定者数	人	9	7	3	12
成果指標 2 奨学資金貸与者の就学率	%	100	100	100	100

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	1,623	1,311	2,269	2,269
正職員人件費 (B)	千円	3,814	3,075	3,096	3,041
総事業費 (A+B)	千円	5,437	4,386	5,365	5,310

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	奨学金の貸与	貸付金 2,112千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒の保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒保護者数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	就学援助認定者数	人	1,622	1,564	1,475	1,476
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	就学援助認定率	%	18.7	18.2	17	17
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	171,560	155,503	185,600	180,900
正職員人件費 (B)		千円	9,152	7,687	7,741	7,602
総事業費 (A+B)		千円	180,712	163,190	193,341	188,502

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費等を支給する、	就学援助に必要な経費	180,900千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に私立高校を設置する学校法人

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色のある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	8	7	8	8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,153	1,161	1,140
総事業費 (A+B)		千円	7,144	7,153	7,161	7,140

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	市内私立高校に対し助成金を支出	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色のある教育を実施するための事業への補助金</li> <li>教材教具の整備事業への補助金</li> <li>その他教育委員会が必要と認める事業への補助金 6,000千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：地域体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内小中学生  
・地域住民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域資源を活用した体験活動を子どもたちに提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	実施事業数	事業	4	3	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、学力だけでは計れない感性・意欲・忍耐力などの育成を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	57	67	35	33
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	357	206	117	117
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,075	3,483	2,281
総事業費 (A+B)		千円	4,171	3,281	3,600	2,398

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	【生活体験】1泊2日の宿泊体験 【自然体験】ツリーイング体験	一般報償費	20千円
		消耗品費	43千円
		自然体験委託料	50千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区育成会）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	758	737	737	737
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会が実施する事業への参加者数が増え、活動が活発化する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	310	298	260	289
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	38	37	34	36

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	758	737	737	737
正職員人件費 (B)		千円	2,669	2,690	2,709	1,901
総事業費 (A+B)		千円	3,427	3,427	3,446	2,638

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生相撲大会、青少年キャンプ村、ドッチビー体験会、小中学生かるた大会の開催</li> <li>こいのぼりフェスティバル、スノーフェスティバル等への協力</li> <li>各地区育成会との連携、協力</li> <li>ジュニアリーダー養成の支援</li> <li>会議等の開催</li> <li>活動団体に対し補助金を支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会への補助金 737千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：成人式開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・成人のつどい実行委員会
- ・新成人

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	7	5	5	5
対象指標 2	新成人数	人	1,385	1,452	1,470	1,385

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・当該年度に新成人となる青年で構成する実行委員会が、自ら企画準備して「成人のつどい」を実施する。
- ・江別市成人のつどい実行委員会に対して、アトラクション出演謝礼、交歓会景品代など、成人のつどい開催に要する経費について「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	220	190	180	180
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・新成人を祝福・激励し、参加した新成人が責任ある自立した社会人として、より良い社会の創造に貢献していくことを決意し、市民として連帯感を高めることを目的に実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	成人のつどい参加者数	人	855	861	0	1,744
成果指標 2	参加率	%	61.7	59.3	0	61.1

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	492	513	437	914
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)		千円	2,780	2,819	2,759	3,195

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会に対し補助金を交付</li> <li>・実行委員会の開催</li> <li>・案内状の発送</li> <li>・しおりの作成</li> <li>・成人のつどい（式典・交歓会）の開催</li> <li>・成人のつどい（式典・交歓会）のオンライン中継</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しおり印刷代 71千円</li> <li>案内状郵送料 93千円</li> <li>市民会館使用料 170千円</li> <li>オンライン中継業務委託料 220千円</li> <li>実行委員会への補助 360千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動等が制限され、当日の式典出席が難しい新成人を対象に、式典のオンライン中継を実施する。なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期した令和2年度の式典（令和3年1月）を令和3年5月に、令和3年度の式典を令和4年1月に、それぞれ開催する予定である。

事業名： 発明教室開設事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市少年少女発明クラブ

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	対象クラブ数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集し、専任指導員の指導のもと、ものづくり教室を開講する。  
 ・発明教室を円滑に運営する江別市少年少女発明クラブに対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を支出する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	581	581	561	561
活動指標 2	開催回数	回	24	22	17	18

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市少年少女発明クラブが開講する発明教室に子ども達が参加することにより、自らの手で作り上げることへの関心を高め、想像力を養い、集団活動や体験学習の経験を通して、協調性と豊かな創造性を身に付ける。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	作品展出品数	件	46	43	38	40
成果指標 2	延べ活動人数	人	404	383	323	360

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	581	581	561	561
正職員人件費 (B)		千円	2,288	1,537	1,548	760
総事業費 (A+B)		千円	2,869	2,118	2,109	1,321

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から1月：製作教室</li> <li>・夏冬の作品展示会</li> <li>・発明教室に対し補助金を支出</li> </ul>	発明教室への補助 561千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市青少年のための市民会議

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民会議の会員数（個人）	人	177	166	182	175
対象指標 2	市民会議の会員数（団体）	団体	55	54	56	55

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動及び有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、活動費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	129	120	120	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上していく。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	主催事業協力者数	人	74	52	37	54
成果指標 2	健全育成標語応募件数	件	1,337	464	2,414	1,405

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	129	120	120	120
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	1,901
総事業費 (A+B)		千円	2,417	2,426	2,442	2,021

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成啓発などの標語募集</li> <li>・少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考</li> <li>・青少年善行賞の選定、表彰</li> <li>・街頭啓発の実施</li> <li>・会議等の開催</li> <li>・市民会議に対し補助金を支出</li> </ul>	市民会議への補助 120千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒数	人	5,773	5,869	5,816	5,865
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生で構成されるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	キャンプ村開催日数	日	5	5	0	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流及び集団生活を通して、規律ある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性や社会性を高める。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加グループ数	グループ	75	72	0	76
成果指標 2	青少年キャンプ村参加人数	人	374	334	0	376

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	625	643	724	724
正職員人件費 (B)		千円	4,576	3,459	3,483	2,281
総事業費 (A+B)		千円	5,201	4,102	4,207	3,005

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	7月下旬または8月上旬に江別市森林キャンプ場において、青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生からなるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。	・生活指導員謝礼	336千円
		・バス借上げ料	318千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学生以上24歳以下の市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	20,141	19,969	19,969	19,742
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

各種コンクール等において優秀な成績を収めるなど、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し、「江別市青少年文化賞規則」等に基づき各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

芸術及び文化に対する意識を高め、創造性豊かな青少年の育成を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	受賞者数	人	19	21	10	20
成果指標 2						

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	327	356	360	360
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	1,090	1,125	1,134	1,120

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・全国・全道規模の各種コンクールで優秀な成績を収めた青少年を表彰する。	・楯代 360千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：問題行動対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。  
 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会などにより関係機関の連携を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	346	256	203	256
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	17	14	15

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	81	75	42	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	4,699	4,511	5,247	5,509
正職員人件費 (B)		千円	5,720	7,303	6,580	6,462
総事業費 (A+B)		千円	10,419	11,814	11,827	11,971

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回街頭指導の実施</li> <li>祭典巡回指導の実施</li> <li>江別市指導連絡会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導員報酬等 4,790千円</li> <li>少年育成委員報酬 384千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：いじめ・不登校対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	168	174	168	174

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・いじめ・不登校の専用相談窓口を開設し、専任指導員が教育相談に対応する。
- ・青年センターにスクールカウンセラーを配置し、教育相談を実施する。
- ・不登校児童生徒を対象に、すぽっとケア（学習支援）とケア事業（体験活動）を実施する。
- ・いじめ問題等について、児童生徒が直接市教委に伝える心のダイレクトメール事業を実施する。
- ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。
- ・情報モラルの普及啓発を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	78	86	80	95
活動指標 2	すぽっとケア・ケア事業開催回数	回	122	121	112	121

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・いじめが解消される。
- ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。
- 又は、再登校には至らないものの、学校以外の社会との接点を持つなど状況が変化する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	いじめの解消率	%	78	99	78	78
成果指標 2	再登校率	%	14	16	17	17

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	5,264	5,378	6,173	6,468
正職員人件費 (B)		千円	7,246	8,840	8,902	8,742
総事業費 (A+B)		千円	12,510	14,218	15,075	15,210

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ・不登校の専用相談窓口開設</li> <li>・スクールカウンセラーによる教育相談を実施</li> <li>・不登校児童生徒を対象にすぽっとケア（学習支援）とケア事業（体験活動）を実施</li> <li>・心のダイレクトメール事業を実施</li> <li>・中学生サミットを開催</li> <li>・情報モラルの普及啓発を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任指導員報酬等 4,790千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童、保護者及び教育関係者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・相談員（カウンセリング講座修了者や教員経験者など相談業務に携わった経験者）を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	相談員配置学校数	校	17	17	17	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,273	4,967	5,190	5,270

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	18,212	17,075	16,900	17,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	5,383	5,146	5,604	5,524
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	6,908	6,683	7,152	7,044

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童、保護者、教育関係者の悩みや相談に対応	心の教室相談員報酬 5,422千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策			
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	事業実践項目数	項目	38	38	38	38
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	6,951	8,878	5,800	6,100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	3,265	3,105	2,966	2,966
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,153	1,935	1,901
総事業費 (A+B)		千円	5,172	4,258	4,901	4,867

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出	・ 講師の謝礼等	576千円
		・ 消耗品購入費	1,544千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬は北海道負担）。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	配置学校数	校	9	9	10	10
活動指標 2	延べ相談時間	時間	1,178	778	785	720

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,332	1,236	1,250	1,150
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	58	45	27	27
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	1,583	1,582	1,575	1,547

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	中学校 8校、小学校 2校にスクールカウンセラーを配置し相談業務にあたる。	配置校消耗品費 27千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

教育活動の講師として、文化・芸術など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を活用するための費用を負担する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	社会人を活用した授業を申請した学校数	校	11	12	12	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

社会人を活用した教育活動を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	社会人を活用した授業を実施した学校数	校	11	8	12	12
成果指標 2	社会人を活用した授業を実施した回数	回	14	9	20	20

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	404	405	560	560
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,167	1,174	1,334	1,320

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を教育活動の講師として活用するための支援を行う。	報償費 560千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：特別支援教育推進事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	570	654	654	676
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

特別支援教育支援員（通常学級）の配置、専門家チームの巡回相談等による学校や保護者への助言、研修会の開催による教員等の能力向上、その他環境整備等を通じて支援を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	191	197	103	188
活動指標 2	特別支援教育支援員（通常学級）の配置数	人	33	35	36	36

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教員が児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて長期目標・短期目標を盛り込んだ個別の教育計画に沿って、適切な教育を行うことにより、対象児童生徒が生活や学習上の困難を改善・克服する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	通常学級で個別の教育支援計画を作成している学校の割合	%	83.3	100	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	38,467	36,605	38,283	38,487
正職員人件費 (B)		千円	7,246	8,456	8,128	7,982
総事業費 (A+B)		千円	45,713	45,061	46,411	46,469

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員（通常学級）の配置</li> <li>特別支援教育専門家チームの経費</li> <li>特別支援教育に係る施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員（通常学級）等の報酬等：35,417千円</li> <li>巡回相談に係る専門家チーム委員の謝礼等：575千円</li> <li>施設整備工事費：1,521千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：キャリア教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立中学校の生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内公立中学校の生徒数	人	2,978	2,947	2,921	2,965
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

連続2日間、生徒が事業所において職場体験する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	職場体験受け入れ事業所数	所	121	123	0	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自己の進路や職業観を養う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	キャリア教育参加生徒数	人	849	749	0	724
成果指標 2	自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合	%	78	77	0	78

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	661	611	626	626
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,075	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	4,475	3,686	3,722	3,667

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	公立中学校の生徒が事業所において連続する2日間の職場体験を行う。	・ マナー研修等経費	154千円
		・ 職場体験実施に係る経費	472千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,654	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	食器更新・追加数	個	17,986	3,765	4,100	4,100
活動指標 2	検討委員会開催数	回	0	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	食器破損率	%	6.02	5.63	6	6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,144	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	1,144	384	387	380

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。	人件費事業

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策	(2) 教育内容の充実					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）や、書写やミシンなど、教科指導以外の学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	学習サポート教員の登録人数	人	37	34	34	34
活動指標 2	学校支援地域ボランティアの登録人数	人	53	82	33	33

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校における、多様な学習機会を提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,452	3,252	3,467	3,470
成果指標 2	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	477	479	344	434

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	8,896	8,494	9,223	9,364
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	12,710	12,338	12,319	12,405

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。</li> <li>一校あたり学習サポート教員を平均139回、学校支援ボランティアを平均17回派遣する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習サポート教員派遣経費 6,967千円</li> <li>コーディネーター報酬等 2,397千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どものための読書環境整備事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の子どもとボランティア

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市内小中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、市内小・中学校を巡回する司書と支援司書を配置する。  
 ・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 司書巡回学校数	校	6	7	7	9
活動指標 2 司書短期間支援学校数	校	12	17	15	15

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。  
 ・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 司書巡回によって増加した貸出冊数	冊	959	1,340	1,500	1,500
成果指標 2 司書巡回期間のボランティア活動回数	回	24	7	1	8

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	5,885	5,952	8,246	8,749
正職員人件費 (B)	千円	4,576	4,612	4,645	4,561
総事業費 (A+B)	千円	10,461	10,564	12,891	13,310

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・学校図書館の環境整備への支援 ・司書による学習支援 ・司書と学校図書館ボランティアとの協働による支援	・会計年度任用職員報酬等 8,504千円 （巡回司書3名、支援司書1名） ・団体貸出用図書、朝読書、調べ学習用図書購入費用 100千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,654	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。  
 栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	運営委員会開催数	回	0	0	0	0
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	313	323	330	330

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	83.5	83.4	85	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	栄養教諭が学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費事業

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2	モデル校の児童数	人	177	169	184	196

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・体力向上に係る実践研究を行っている北翔大学の協力のもと、近隣に位置する文京台小学校をモデル校に指定し、教授と学生が学校を訪問のうえ、朝の時間を利用して「朝運動プログラム」を実施する。また、モデル校以外で体力向上の取組が広がるよう、朝運動プログラムの普及出前授業（年5校予定）を実施する。
- ・全ての小中学校において1校1実践を実施し、運動に親しむ環境づくりの充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数	回	59	60	61	61
活動指標 2	「朝運動プログラム」を実践した児童数	人	246	283	255	174

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体を動かすことを楽しいと感じてもらうとともに、児童生徒の体力向上を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	%	92	67	81	81
成果指標 2	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	%	96	88	94	94

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	635	647	648	648
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	2,923	2,953	2,196	2,168

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1校をモデル校とし、基礎的な動きを組み入れた運動を継続的に行える体力向上のための取組を行い、その効果と検証を行う。</li> <li>・江別市体力向上「朝運動プログラム」事業普及のための出前講座を市内小学校（5校）にて行う。</li> <li>・小学校（縄跳び）、中学校（長縄跳び）などの1校1実践の取組を全校で行う。</li> </ul>	北翔大学への委託料 648千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援教育就学奨励費

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校特別支援学級及び市内小学校通級指導教室に通学する児童生徒の保護者	人	350	374	391	411
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

特別支援教育就学奨励費が必要な保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	217	220	252	238
活動指標 2	通学費認定者数	人	153	148	154	164

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

経済的な理由で児童生徒の就学に必要な経費を捻出することが困難な保護者を助成することにより、児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	62	58.8	64	58
成果指標 2	通学費認定率	%	43.7	39.6	39	40

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	5,695	5,927	8,629	8,903
正職員人件費 (B)		千円	3,051	5,381	4,645	4,561
総事業費 (A+B)		千円	8,746	11,308	13,274	13,464

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 ※「要保護児童生徒援助補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金要綱」に基づき、支出の2分の1が補助される。	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 小学校 5,418千円 中学校 3,485千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実	具体的施策	(2) 教育内容の充実					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・課題を抱える児童生徒の置かれている環境への働きかけ  
 ・学校や関係機関との連携や調整  
 ・保護者や学校等に向けて、予防的な情報提供、相談支援

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,165	1,340	1,360	1,240

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	支援ケース件数	件	136	147	160	150
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,751	6,750	7,459	7,529
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	8,276	8,287	10,555	10,570

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	スクールソーシャルワーカーが、社会福祉等の専門的な知識や経験等を活かして、課題を抱える児童生徒等に対して相談支援を行う。	スクールソーシャルワーカー報酬等 7,493千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 中文連・中体連負担金補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）  
江別市中学校体育連盟（中体連）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,533	3,506	3,523	3,525
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、市内中文連、中体連に対し、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,307	1,297	865	1,305
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種大会を実行するための中文連・中体連の組織の健全な運営を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	中文連・中体連大会開催数	回	14	15	3	15
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,307	1,297	1,304	1,305
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,070	2,066	2,078	2,065

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金及び石狩管内中学校体育連盟の負担金を補助する。	・市内中学校文化連盟負担金	353千円
		・市内中学校体育連盟負担金	952千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校外国語教育支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小・中学校の児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	6,244	5,826	5,963	5,956
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	外国語指導助手との外国語の授業を楽しみと考える児童生徒の割合	%	87	83	86	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	34,128	34,521	34,953	34,953
正職員人件費 (B)		千円	6,864	6,150	6,193	6,082
総事業費 (A+B)		千円	40,992	40,671	41,146	41,035

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の授業において、複数の教員が役割を分担しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。</li> <li>長期休業中（夏季及び冬季）における外国語活動の実施。</li> </ul>	外国語指導助手報酬 33,300千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：コミュニティ・スクール事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小・中学校

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

全小中学校の学校運営委員会委員に報酬を支給するとともに、各学校運営委員会を支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	コミュニティ・スクール設置校	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校・地域・家庭が、目指す子ども像を共有し、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	学校運営委員会開催回数	回	75	76	72	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,757	1,590	1,679	1,923
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,871	3,801
総事業費 (A+B)		千円	5,571	5,434	5,550	5,724

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	学校運営委員会を運営するための経費	・ 学校運営委員会委員報酬	1,350千円
		・ 市外研修旅費	54千円
		・ 広報活動費等諸経費	500千円
		・ 委嘱状印刷経費	19千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：医療的ケア児支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行う。また、医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援に当たっては安全かつ適正に医療的ケアを実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	学校看護師数	人	0	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

医療的ケアを必要とする児童生徒が小中学校に就学できる実施体制の充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	学校において医療的ケアを実施した人数	人	0	0	0	0
成果指標 2	学校における医療的ケア児の受入れ可能人数	人	0	2	2	2

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	407	265	894
正職員人件費 (B)		千円	0	23,830	23,997	23,566
総事業費 (A+B)		千円	0	24,237	24,262	24,460

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校看護師の配置</li> <li>医療的ケア運営協議会の運営</li> <li>医療的ケア実施に係る施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療的ケア運営協議会委員への謝礼：209千円</li> <li>施設整備に係る工事費：497千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校ICT環境整備事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の教職員

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校教職員数	人	0	0	609	624
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

業務の円滑化及び情報セキュリティの確保を図るため、教職員 1 人につき 1 台、校務用コンピュータを配備するなど、市内公立小中学校における ICT 環境を整備する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	校務用コンピュータ配備台数	台	0	0	624	624
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内公立小中学校に校務支援システムを導入し、教職員における校務の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	校務支援システム導入校数	校	0	0	25	25
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	38,068	34,705
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,645	4,561
総事業費 (A+B)		千円	0	0	42,713	39,266

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の円滑化を図るため、教職員 1 人につき 1 台、校務用コンピュータを配置する。</li> <li>校務支援システムを活用し、教職員の校務の効率化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務支援システム利用料等 9,969千円</li> <li>校務用コンピュータ等償還金 14,964千円</li> <li>ICT環境維持管理経費 9,772千円</li> </ul>			

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：北海道中学校体操競技・新体操大会補助金 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2		補助金 団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道中学校体操競技・新体操大会事務局

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	事務局数		0	0	0	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振事業補助金交付規則」に基づき、北海道中学校体操競技・新体操大会事務局に対して、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額		0	0	0	150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学校体育活動の振興を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	大会参加者数		0	0	0	149
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	150
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	760
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	910

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	中学校体操競技・新体操大会の全道大会が当市で開催されるにあたり、その運営にかかる経費を補助する。 ・開催期間 令和3年7月29日～31日（予定） ・開催場所 道立野幌総合運動公園総合体育館（予定）	・北海道中学校体操競技・新体操大会への補助金 150千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

新規	
----	--

事業名：GIGAスクール構想推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	0	0	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」を推進し、学習者用端末等をはじめとした学校ICT環境を整備する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	学習者用端末整備台数	台	0	0	7,125	7,125
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学習者用端末等をはじめとした機器を整備することで、ICTを活用した円滑な授業実施を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	児童生徒に対する学習者用端末配備割合	%	0	0	83	82
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	27,117
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,602
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	34,719

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者用端末等を活用した授業を行うにあたり、専門知識を有する外部事業者による迅速なサポート体制を構築する。</li> <li>円滑な授業実施のための通信料を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用保守関連経費 23,020千円</li> <li>ネットワーク回線経費 2,403千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	「GIGAスクール構想」を推進し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現するため、学校ICT環境を構築する。



事業名：公民館管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	90,501	91,082	93,685	94,101
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、社会教育の中心施設となる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 利用者数	人	219,932	198,485	95,800	171,400
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	93,065	93,185	95,875	96,291
正職員人件費 (B)	千円	1,907	1,922	1,935	2,661
総事業費 (A+B)	千円	94,972	95,107	97,810	98,952

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・指定管理協定の締結 ・施設及び物品の修繕	指定管理料 94,010千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：図書館運営管理事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

情報図書館

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2 施設数（学校図書館地域開放事業）	施設	2	2	2	2

手段（事務事業の内容、やり方）

情報図書館の運営管理に要する経費

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 年間開館日数（全館）	日	291	270	259	292
活動指標 2 運営・維持管理経費	千円	71,371	72,512	83,258	86,218

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。
- ・施設が適切に運営管理される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 年間資料貸出利用者数	人	191,683	169,105	141,000	156,000
成果指標 2 年間資料貸出冊数	冊	810,832	698,382	610,000	674,000

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	71,371	72,512	83,258	86,218
正職員人件費 (B)	千円	30,508	30,364	32,899	32,309
総事業費 (A+B)	千円	101,879	102,876	116,157	118,527

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	情報図書館の管理運営	・会計年度任用職員報酬等	52,667千円
		・燃料費・光熱水費	9,415千円
		・清掃等施設管理委託料	19,861千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：図書館資料整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	01 生涯学習の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に通勤・通学している人

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。
- ・月1回選書会議を行い購入する図書を選定する。
- ・相互貸借により資料を提供し補完する（道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等）。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 資料購入冊数	冊	10,592	10,067	9,450	8,980
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、図書資料等に対する市民の関心が高まり、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 市民一人当たりの貸出冊数	冊	6.8	5.8	5.1	5.6
成果指標 2 予約及びリクエスト件数	件	110,803	108,011	128,000	125,800

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	21,998	21,707	20,500	19,620
正職員人件費 (B)	千円	3,432	3,459	3,483	3,421
総事業費 (A+B)	千円	25,430	25,166	23,983	23,041

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料等の整備に係る経費	雑誌・新聞・その他逐次刊行物等購入費 3,420千円 図書資料購入費 16,200千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：旧町村農場管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	7,486	7,552	8,351	8,762
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	来場者数	人	6,503	8,420	4,441	6,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	8,098	8,293	8,631	9,042
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	9,623	9,830	10,179	10,562

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理協定の締結</li> <li>施設の修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 8,762千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	01 生涯学習の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

20歳以上の市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 20歳以上の市民	人	99,505	100,008	100,008	100,409
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・初心者パソコン教室等の開催
- ・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施（毎月第1・第3土、日曜日）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 各種パソコン講習会開催数	回	27	29	25	35
活動指標 2 インターネット体験の実施日数	日	44	21	30	46

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 各種パソコン教室受講者数	人	176	170	99	190
成果指標 2 コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	2,338	1,883	740	1,300

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	291	292	1,003	1,003
正職員人件費 (B)	千円	4,195	4,228	4,258	4,181
総事業費 (A+B)	千円	4,486	4,520	5,261	5,184

事業内容（主なもの）	回数	費用内訳（主なもの）	費用
3年度 初心者パソコン教室	22回	パソコンボランティア謝礼	69千円
EPOC講習会	12回	初心者パソコン教室講師派遣委託料	660千円
初めてのパソコン講習会	1回	EPOC講習会講師派遣委託料	60千円
		コンテンツフィルタリング保守費	139千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館展示室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	展示会開催数	回	4	3	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

展示会を開催することにより、図書館の活動に関心を持ち、より多くの市民が図書館に足を運ぶようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	展示室入場者数	人	1,256	1,570	1,598	1,600
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	115	51	54	54
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)		千円	2,403	2,357	2,376	2,335

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	展示会の開催 「こわい本展覧会」 「土曜広場作品展」 「しかけ絵本と大型絵本展」他	・展示会講師謝礼 ・展示会用消耗品費	40千円 14千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

高齢者の学習機会として、蒼樹大学を開催する。  
5～3月に毎月1、2回学習会開催

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 講座開催数	回	54	60	8	61
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域社会で生かすことのできる知識や技術を獲得する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 学生数	人	145	161	124	124
成果指標 2 出席率	%	82	83	90	85

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	536	567	501	501
正職員人件費 (B)	千円	1,907	1,922	1,935	2,661
総事業費 (A+B)	千円	2,443	2,489	2,436	3,162

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座と、選択制の専攻講座（コース、太極拳、園芸、ふるさと学、絵手紙、体操）を実施。	蒼樹大学開催に係る費用 501千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校、社会教育関係団体等および市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・プロジェクターなどの機器は、学校や社会教育関係団体等からの申請により貸出しする。
- ・ビデオソフトなどの教材は、個人へも貸出しする。
- ・視聴覚教育に必要な機器と教材の充実を図るとともに、図書館ウェブサイトなどにより周知を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	ライブラリー機器の数	点	20	20	20	20
活動指標 2	ライブラリー教材の数	点	2,067	2,092	2,127	2,127

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校や社会教育関係団体等が視聴覚教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。
- ・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	3,250	2,530	1,700	1,900
成果指標 2	貸出件数	回	3,151	2,448	1,600	1,800

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	575	427	397	370
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)		千円	2,863	2,733	2,719	2,651

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体等への視聴覚機器の貸出</li> <li>・個人への教材の貸出</li> <li>・教材用DVDの購入</li> <li>・ビデオ上映会の実施</li> </ul>	貸出用教材購入費	304千円
		著作権（上映権）使用料	66千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：読書普及活動事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

読書普及に向けたおはなし会、講演会などを開催する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 図書館主催おはなし会など開催回数	回	319	298	239	337
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。
- ・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 読書普及事業の参加人数	人	3,420	3,355	1,649	2,300
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	370	315	369	368
正職員人件費 (B)	千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)	千円	2,658	2,621	2,691	2,649

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 本館及び分館でのおはなし会やイベントの開催	おはなし会講師謝礼 323千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流等の社会教育活動を実施する地域の団体。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	補助対象事業数	団体	16	16	5	16
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

交流事業や芸術文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき事業費の一部を支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	734	659	331	800
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また、団体が地域と協働で活動することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	5,346	7,197	2,714	5,856
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	734	659	800	800
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,497	1,428	1,574	1,560

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進事業を実施する市内の団体などに対して、事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流促進事業補助金 800千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生以上の市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 高校生以上の市民	人	104,568	104,992	104,992	105,301
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内4大学との共催で行う連携講座「ふるさと江別塾」の開催。
- ・市内4大学や社会教育関係団体が主催する市民向け講座、市主催の講座を「えべつ市民カレッジ」として位置付け、総合的に学ぶ機会を提供する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 連携団体数	団体	6	6	6	6
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

知的資源を有する市内4大学等と連携し、様々な市民の学習要求に応えることにより、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える環境をつくとともに、まちづくりの身近な地域課題に対する気づきの機会も提供されている。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 えべつ市民カレッジ講座数	講座	191	208	46	148
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	194	194	183	183
正職員人件費 (B)	千円	2,669	2,690	2,709	2,661
総事業費 (A+B)	千円	2,863	2,884	2,892	2,844

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・市内4大学と連携を図り、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。 ・各大学等で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座をえべつ市民カレッジとして位置付け、総合的に市民へ情報提供する。 ・受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。	・ふるさと江別塾開催に係る経費 140千円 ・えべつ市民カレッジ受講シール、称号授与に係る経費 43千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：コミュニティセンター管理運営事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

コミュニティセンター

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	16,593	16,670	17,080	17,194
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	94,709	138,060	25,800	86,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	16,593	16,670	17,080	17,194
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,153	1,161	1,520
総事業費 (A+B)		千円	17,737	17,823	18,241	18,714

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・ 指定管理協定の締結	・ 指定管理料	17,194千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市女性団体協議会、江別市PTA連合会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	補助団体数	団体	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,638	2,538	2,538	2,538
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

それぞれの団体が独立して活動を行うことで、社会教育活動が活性化する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	2,986	3,185	2,900	2,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,638	2,538	2,538	2,538
正職員人件費 (B)		千円	3,432	4,612	4,645	6,082
総事業費 (A+B)		千円	6,070	7,150	7,183	8,620

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・「江別市女性団体協議会」「江別市PTA連合会」「江別市生涯学習推進協議会」「江別市聚楽学園」への補助金交付	・江別市女性団体協議会への補助金 400千円	・江別市PTA連合会への補助金 368千円
		・江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円	・江別市聚楽学園への補助金 770千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：家庭教育支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子育て中の保護者、一般市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校の家庭数	件	7,169	7,093	7,094	7,119
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市P連と協力して情報モラル講演会の実施
- ・えべ育カフェ（子育て世代の保護者が気軽に集まれる場）の開催
- ・家庭教育ナビゲーターの養成

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	事業開催数	回	1	4	1	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て中の保護者の悩みや不安の軽減に繋がる支援を行う

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	174	217	20	137
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	39	219	162	162
正職員人件費 (B)		千円	763	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	802	1,756	1,710	1,682

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け講演会の開催</li> <li>・江別市家庭問題研究会の活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル講演会講師料 35千円</li> <li>・えべ育カフェ開催謝礼 60千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民交流施設関連経費（情報図書館）

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に通勤・通学している人

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	0	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民交流施設で、図書館資料の貸出・返却業務などを行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	業務日数	日	0	67	307	359
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

利用者の利便性を高め、図書館利用数を増加させる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	0	928	5,701	5,600
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	0	2,018	13,097	12,700

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	2,822	2,010	2,356
正職員人件費 (B)		千円	0	384	774	760
総事業費 (A+B)		千円	0	3,206	2,784	3,116

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市民交流施設における予約図書等の貸出・返却業務の実施に要する費用。	図書館業務委託料	2,356千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

見直し	図書館業務の月曜日の取り扱いを開始する。
-----	----------------------

事業名： ガラス工芸館管理運営経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・ガラス工芸館  
・ガラス工芸家

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	敷地面積	m <sup>2</sup>	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	m <sup>2</sup>	242.72	242.72	242.72	242.72

手段（事務事業の内容、やり方）

・施設の管理運営  
・ガラス工芸家の創作活動公開

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開館日数	日	39	62	48	62
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、工芸の分野における文化の振興に資する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	来館者数	人	736	1,365	657	1,110
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,046	2,026	2,030	1,977
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,809	2,795	2,804	2,737

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	ガラス工芸館の管理運営	管理運営費	1,977千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・「れんがとやきものまち・江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術・文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の企画展を開催し、市民に芸術・文化の鑑賞の場を提供する。
- ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館等へポスターやチラシを頒布し、周知する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 企画展開催数	回	4	4	3	4
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・多くの市民（来館者）に観覧してもらうことで、「れんがとやきものまち・江別」のイメージをより広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 企画展入場者数	人	5,604	4,778	3,100	3,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	3,365	9,871	6,709	5,020
正職員人件費 (B)	千円	11,441	9,609	6,193	6,462
総事業費 (A+B)	千円	14,806	19,480	12,902	11,482

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・「市立函館博物館所蔵 花光コレクション」展ほか計4回の企画展を開催	・「市立函館博物館所蔵 花光コレクション」展の開催経費 3,980千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	独法) 日本芸術文化振興会による芸術文化振興基金を活用し、一般財源の圧縮に努める。

事業名：セラミックアートセンター管理運営経費 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化		戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

セラミックアートセンター

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・セラミックアートセンターの管理運営に要する経費。
- ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料の収集、展示。
- ・陶芸を中心とした展覧会の開催、各種陶芸教室・講座等の適正な管理運営。工房、窯等の貸出し。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 開館日数	日	299	283	301	301
活動指標 2 運営・維持管理経費	千円	39,243	39,740	39,781	38,930

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・快適かつ安全に利用してもらおう。
- ・多くの市民に利用してもらおうことで、「れんがとやきものまち・江別」のイメージの共有を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 利用者数	人	24,635	24,490	24,000	15,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	39,243	39,740	39,781	38,930
正職員人件費 (B)	千円	6,864	4,997	7,741	7,602
総事業費 (A+B)	千円	46,107	44,737	47,522	46,532

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・セラミックアートセンターの維持管理 ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料の収集・展示	・会計年度任用職員報酬 3,164千円 ・暖房用重油代等燃料費 3,314千円 ・電気代等光熱水費 5,070千円 ・維持管理関係委託料 24,973千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	推進委員数	人	12	12	12	12
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

推進委員会が、地域資源となる地域に在住する伝統的文化活動等の指導者の方々の協力を得て、土曜広場を提供することで、子どもたちの日本文化に対する理解を深め、文化芸術活動を拡充する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	開催学校数	校	17	16	0	17
成果指標 2	参加者数	人	871	769	0	810

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,922	1,935	1,901
総事業費 (A+B)		千円	2,807	2,822	2,835	2,801

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内各小学校の施設を活用して日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する推進委員会に対し、補助金を交付する。</li> <li>【土曜広場】</li> <li>会場：市内小学校17か所</li> <li>実施日：月2回土曜日午前中（10回程度/校）</li> <li>活動種目 囲碁・茶道・手芸・百人一首など25種類程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金 900千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：市民文化ホール管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民文化ホール

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	50,559	51,403	52,557	53,224
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 利用者数	人	63,473	54,573	12,300	43,400
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	50,559	51,832	337,547	53,314
正職員人件費 (B)	千円	1,144	1,153	2,322	1,520
総事業費 (A+B)	千円	51,703	52,985	339,869	54,834

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・指定管理協定の締結 ・施設の修繕	・指定管理料 53,224千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	令和2年度は大規模な改修工事を行ったため、令和2年度と比較すると事業費は減少する。

事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

NPO法人江別市文化協会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	1,896	1,859	1,792	1,792
対象指標 2	加盟団体数	団体	111	109	109	109

手段（事務事業の内容、やり方）

市内の文化団体相互の連絡協調とその活動の促進を図るとともに、芸術文化・生活文化を通じて情操豊かな市民文化の振興と健康で文化的なまちづくりに寄与するための事業を行うNPO法人江別市文化協会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	主催・支援事業数	件	19	21	10	20
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	350	350	350	350
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,113	1,119	1,124	1,110

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・NPO法人江別市文化協会に対し補助金交付【対象事業】 ①会員交流事業、②会員拡大・研修・活動促進事業、 ③顕彰事業、④文化活動発信事業、⑤えべつ未来コミュニティ事業、⑥文化振興調査研究事業	・補助金 350千円	

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に対し、「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき全国大会等出場奨励金を支給する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 奨励金支給個人数	人	6	9	1	4
活動指標 2 奨励金支給団体数	団体	0	0	0	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人や団体を奨励することにより、さらなる意欲の向上が図られ、地域の文化・芸術を担う人材が育成される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 入賞個人数	人	4	7	1	4
成果指標 2 入賞団体数	団体	0	0	0	2

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	60	90	240	240
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	441	474	627	620

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に奨励金を支給する。 ・個人：10,000円以内。本市に在住していること。 ・団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）。本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民で組織されていること。 ※いずれも就学以前の者を除く。	・全国大会等出場奨励金 240千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別音楽協会補助金

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別音楽協会

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 構成人員数	人	350	350	350	350
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市内の学校や音楽団体の水準向上と人材育成を図る事業に取り組む江別音楽協会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	900	900	900	900
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内の学校や音楽団体の水準向上と人材育成を図り、市民の音楽文化に対する関心を高める。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 事業参加者数	人	1,982	1,653	222	1,290
成果指標 2 事業への来場者数	人	4,006	2,391	0	2,130

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	900	900	900	900
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	1,281	1,284	1,287	1,280

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・「夏の演奏会」「プリズムコンサート」「楽器別講習会」の開催 ・江別音楽協会に対し補助金を交付	・補助金 900千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民芸術祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術文化の振興を目的とする市民組織

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	構成関係団体数	団体	2	2	1	2
対象指標 2	構成委員数	人	16	15	9	16

手段（事務事業の内容、やり方）

幅広い市民参加及び専門家による創作を発表する事業を実施する各実行委員会に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	900	1,600	500	900
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	703	1,610	165	440
成果指標 2	開催事業数	回	4	3	2	3

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	900	1,600	500	900
正職員人件費 (B)		千円	3,432	3,459	2,709	3,041
総事業費 (A+B)		千円	4,332	5,059	3,209	3,941

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台部門（市民ミュージカル公演 3年に1回。次回 R4）</li> <li>・音楽部門（まちかどコンサート 年2回）</li> <li>・展示部門（市民美術展受賞作品展 5年に1回。次回 R4）</li> <li>・各実行委員会に対し補助金を交付する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ミュージカル実行委員会への補助金 400千円</li> <li>・まちかどコンサート実行委員会への補助金 500千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：北海道林木育種場旧庁舎維持管理経費 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道林木育種場旧庁舎

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	敷地面積	m <sup>2</sup>	5,053.53	5,053.53	5,053.53	5,053.53
対象指標 2	延床面積	m <sup>2</sup>	1,388.09	1,388.09	1,388.09	1,388.09

手段（事務事業の内容、やり方）

令和3年9月（予定）の民間利活用者への引き渡しまでの間、施設を維持する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開館日数	日	113	111	98	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適正に維持管理される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	628	585	369	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,192	1,821	1,752	207
正職員人件費 (B)		千円	381	384	1,161	380
総事業費 (A+B)		千円	2,573	2,205	2,913	587

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	北海道林木育種場旧庁舎の維持管理	維持管理経費 207千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	令和3年9月（予定）の民間利活用者への引き渡しに向け、施設の改修工事を行うに当たり、令和3年3月をもって一般開放を停止する。

事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市野幌太々神楽伝承会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	構成員数	人	23	23	23	23
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民団体として、市民への公演会や保存団体への協力を行う太々神楽の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。  
 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	300
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財「野幌太々神楽」を永く保護保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	28	32	2	28
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	300	300	300	300
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	681	684	687	680

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	江別市野幌太々神楽伝承会の公演等の保存伝承活動事業に対し、補助金を交付し支援する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助	300千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策				
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市指定文化財保存団体「野幌太々神楽保存会」

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	構成員数	人	160	155	160	155
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市指定文化財保持団体の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。  
 ・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	150	150	150	150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財を適切に保護、保存する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	32	30	2	24
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	150	150	150	150
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	531	534	537	530

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である「野幌太々神楽保存会」の保存伝承活動に対し、補助金を交付し支援する。	野幌太々神楽保存会への補助	150千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：陶芸文化普及振興事業

セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・陶芸を中心とした企画展示事業の開催。
- ・陶芸体験、初級・中級等の教室や講座の開催。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	展示事業数	回	4	1	1	1
活動指標 2	教室・講座等事業数	事業	32	25	32	30

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・多くの市民に陶芸体験の機会や鑑賞の機会を提供し、陶芸文化、ひいては芸術文化全般に対する市民意識の高揚を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	展示事業入場者数	人	5,915	3,995	4,000	1,500
成果指標 2	教室・講座等事業参加者数	人	5,879	5,291	5,300	2,700

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,763	6,389	6,769	7,125
正職員人件費 (B)		千円	6,102	3,844	5,419	4,941
総事業費 (A+B)		千円	12,865	10,233	12,188	12,066

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「工房利用者作品展」の開催</li> <li>・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸指導員報酬 5,079千円</li> <li>・展示会開催経費 39千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民文化祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

NPO法人江別市文化協会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	文化協会構成団体数	団体	111	109	109	109
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民文化祭を実施するNPO法人江別市文化協会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,400	2,400	2,400	2,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民文化祭を開催することにより、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加者数（出演者＋来場者）	人	14,771	15,270	15,000	15,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,400	2,400	2,400	2,400
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,922	1,935	1,901
総事業費 (A+B)		千円	4,307	4,322	4,335	4,301

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	市民芸術文化活動の活性化を図るため、開催事業経費から事業収入を控除した額を補助する。 【部門別事業】 ①舞台部門（市民合唱祭他計10事業） ②展示部門（市民美術展他計8事業） ③文芸部門（短歌大会他計4事業） ④生活文化部門（将棋大会他計2事業）	・補助金 2,400千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：芸術鑑賞招へい事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	3	3	3	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,850	1,633	1,400	1,950
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。
- ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	鑑賞者数	人	2,368	1,117	723	1,610
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,850	1,633	1,850	1,950
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,613	2,402	2,624	2,710

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・プロの団体・個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。 ・芸術鑑賞機会を提供する団体に対し補助金を交付する。	・音楽関係公演への補助	1,200千円
		・演芸関係公演への補助	650千円
		・演劇関係公演への補助	100千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 埋蔵文化財包蔵地	カ所	142	142	142	142
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び確認調査等の実施と、資料の整備・公開により、市民ほか関係者に周知する。  
 2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置により、記録保存を行う。  
 3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 所在確認調査・試掘調査実施件数	件	6	4	3	3
活動指標 2 発掘調査実施件数	件	1	1	1	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

埋蔵文化財を適切に保護、保存する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 埋蔵文化財保護件数	件	7	5	4	7
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	9,714	10,465	17,422	34,431
正職員人件費 (B)	千円	13,729	13,837	13,934	13,684
総事業費 (A+B)	千円	23,443	24,302	31,356	48,115

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い、記録保存のための発掘調査を実施する。 埋蔵文化財包蔵地に関する資料の管理・公開や確認調査等を実施する。	発掘調査に伴う費用 作業員等報酬 14,261千円 委託料 13,473千円 確認調査等に伴う費用 委託料 660千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化		戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。
- 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。
- 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	企画展開催数	回	2	2	1	0
活動指標 2	展示資料点数	点	242	155	40	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらに、ふるさと意識の醸成を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	企画展入場者数	人	4,628	3,525	1,000	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	53	59	79	0
正職員人件費 (B)		千円	3,051	1,537	1,548	0
総事業費 (A+B)		千円	3,104	1,596	1,627	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度			

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
休止	文化財整理室移転事業を令和3年度に実施するに当たり、収蔵資料を搬送し移転先で再整理することから、本事業で展示する資料の選定や出し入れ等が困難となるため、休止とする。



事業名：ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業 郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的施策	
開始年度	平成 3年度	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	単独
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市民が郷土史を学ぶための各種講座を開催するとともに、見学受け入れや出前授業等を通じて小中学校の学習を支援する。

- ・子ども学芸員カレッジ（小学生）
- ・縄文土器を作ろう！（小学生）
- ・総合的な学習支援事業（小中学生）
- ・再発見・江別探訪（一般）
- ・ふるさと歴史講座（一般）
- ・歴史を学ぼう（小中学生・一般）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 事業開催回数	回	47	46	35	40
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民に郷土の歴史に対する理解を深めてもらう。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 事業参加者数	人	2,299	2,313	1,900	2,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	234	135	202	195
正職員人件費 (B)	千円	3,814	4,228	4,258	3,041
総事業費 (A+B)	千円	4,048	4,363	4,460	3,236

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ○小学生対象 ・子ども学芸員カレッジ：史跡見学など様々な体験を通じて江別の歴史を学ぶ連続講座 ・縄文土器を作ろう！：土器作りの体験講座 ○一般対象 ・再発見・江別探訪：市内史跡等の見学会 ・ふるさと歴史講座：江別及び北海道の歴史をテーマとした講演会	各講座開催経費 ・子ども学芸員カレッジ 59千円 ・縄文土器を作ろう！ 39千円 ・再発見・江別探訪 59千円 ・ふるさと歴史講座 25千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的施策	
開始年度	平成 3年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

郷土資料館  
 屯田資料館  
 野幌屯田兵屋

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	3	3
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

郷土資料館の維持管理に要する経費。  
 ・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営  
 ・講座等教育普及事業の適正な管理運営  
 ・郷土資料の収集・保存・調査研究  
 屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理並びに運営に関する経費。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 郷土資料館開館日数	日	300	283	264	301
活動指標 2 屯田資料館開館日数	日	60	69	54	64

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市民に江別の歴史を理解してもらう。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 郷土資料館利用者数	人	8,217	7,022	3,800	4,000
成果指標 2 屯田資料館及び野幌屯田兵屋利用者数	人	561	1,102	864	900

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	14,167	13,231	15,656	16,005
正職員人件費 (B)	千円	4,576	4,612	7,354	6,082
総事業費 (A+B)	千円	18,743	17,843	23,010	22,087

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 郷土資料館、屯田資料館、野幌屯田兵屋各施設の維持管理及び展示資料の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理及び解説担当職員報酬 5,761千円</li> <li>燃料費（重油等） 581千円</li> <li>光熱水費（電気、ガス、水道） 1,241千円</li> <li>保守管理委託経費 6,201千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 3年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道林木育種場旧庁舎

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 北海道林木育種場旧庁舎	施設	0	0	0	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・北海道林木育種場旧庁舎の保存・利活用に必要な改修を行う。
- ・民間利活用事業者が実施する施設改修工事に対して補助を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 工事費	千円	0	0	0	82,500
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

国の登録有形文化財としての価値を保つとともに、民間利活用を推進する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 改修された建築物	施設	0	0	0	1
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	92,621
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	3,801
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	96,422

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・建物内不用品解体・廃棄物処分 ・建物の劣化部修繕・安全性確保の改修工事 ・利活用事業者が実施する改修工事に係る補助（江別市ふるさとふれあい推進事業補助金）	・委託料 121千円 ・工事費 82,500千円 ・補助金 10,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	北海道林木育種場旧庁舎を、歴史的建造物としての価値を生かしつつ、魅力ある施設として利活用を図るため、令和2年度に新たな募集要項で保存・活用事業者を公募し、優先契約交渉事業者が決まったことから、建物の劣化部修繕・安全性確保の改修工事等を実施する。

事業名：文化財整理室移転事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化		戦略				
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造		具体的施策				
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 3年度	区分1	新規	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

文化財整理室

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	0	0	0	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

旧角山小の改修・整備  
 収蔵用備品（棚等）の設置  
 収蔵資料及び備品等の運搬

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	事業費	千円	0	0	0	62,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

収蔵資料等を整理保存する文化財整理室を旧角山小学校に移転する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	改修・整備施設数	施設	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	62,000
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,602
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	69,602

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	所蔵資料の収蔵スペース及び資料整理環境を確保するため、旧角山小学校校舎の改修を実施し、資料を搬送・収納する。	旧角山小学校改修工事費等	27,711千円
		移転に係る備品購入費	14,789千円
		収蔵資料移送に係る経費	15,803千円

3年度への改善方向性(2月時点)		改善方向性選択理由（維持以外は記載）	
新規		大麻北町に所在する現文化財整理室は、老朽化等により資料の管理に支障を来している。本事業により、収蔵スペースの確保と収納の効率化を図り、資料の有効利用を促進しようとするものである。	

事業名：学校プール開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	8,582	8,654	8,076	8,145
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校プールを夏季休業期間中、開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休業日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開放校数	校	15	15	0	15
活動指標 2	開放日数	日	14	14	0	14

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	10,306	9,499	0	10,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	3,542	3,553	3,761	3,647
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	1,520
総事業費 (A+B)		千円	5,830	5,859	6,083	5,167

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	夏季休業期間中に小学校15校のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放する。	監視員等報酬	3,229千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	実施校区の児童・生徒数	人	5,635	5,751	5,746	5,738
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午まで市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動（バドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等）に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標 2	開放日数	日	206	178	142	190

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校週5日制により生じた休日を子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。
- ・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	2,290	2,220	2,300	2,300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,195	1,066	1,174	1,171
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	2,720	2,603	2,722	2,691

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド（夏季）を、開放校及びその周辺の児童、生徒及びその保護者に開放する。	指導員謝礼	1,040千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋外体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

はやぶさ運動広場、屋外スケートリンク

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・はやぶさ運動広場の利用受付、維持管理や軽易な補修整備を行う。
- ・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。
- ・両施設とも業務委託で行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	はやぶさ運動広場開放日数	日	194	195	190	190
活動指標 2	屋外スケートリンク開場日数	日	27	22	25	25

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	はやぶさ運動広場利用者数	人	16,459	18,793	18,000	18,000
成果指標 2	屋外スケートリンク利用者数	人	12,111	9,635	11,000	11,000

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,131	6,188	6,320	6,260
正職員人件費 (B)		千円	763	1,537	774	760
総事業費 (A+B)		千円	6,894	7,725	7,094	7,020

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	施設の管理運営、スケートリンク造成を業務委託により実施する。	委託料	6,260千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ少年団補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ少年団

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	登録団数	団	43	44	42	42
対象指標 2	登録団員数	人	984	938	856	856

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,992	1,901	1,931	1,898
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スポーツを行う青少年を増やす。
- ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	11.5	10.8	10.9	9.9
成果指標 2	認定指導員の数	人	149	162	140	140

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,992	1,901	1,931	1,898
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,755	2,670	2,705	2,658

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出。	補助金	1,898千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名： あけぼのパークゴルフ場管理運営事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

あけぼのパークゴルフ場

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	10,881	10,919	11,083	11,345
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 利用者数	人	29,648	33,140	36,433	37,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	10,881	10,919	11,083	11,345
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	11,644	11,688	11,857	12,105

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 11,345千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市スポーツ協会補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ協会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	加盟団体数	団体	25	25	25	25
対象指標 2	加盟人数	人	7,231	7,357	6,500	6,500

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対し補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市スポーツ協会に対し定額を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,449	1,713	1,378	1,417
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・競技力の向上
- ・競技スポーツをする人の増加
- ・競技スポーツを指導する人の増加と資質向上

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	5	5	5	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	398	386	440	440

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,449	1,713	1,378	1,417
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,212	2,482	2,152	2,177

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	江別市スポーツ協会に対し補助金を支出。	補助金	1,417千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：全国大会等開催補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	全国大会件数	件	2	1	0	1
活動指標 2	補助金額	千円	250	150	0	150

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加者数	人	360	486	0	400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	250	150	0	150
正職員人件費 (B)		千円	763	384	0	380
総事業費 (A+B)		千円	1,013	534	0	530

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市内で開催される全日本マスターズホッケー大会に対し、補助金を支出。	補助金	150千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：森林キャンプ場管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

森林キャンプ場

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	7,636	8,120	7,777	8,061
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 利用者数	人	12,192	3,945	14,632	13,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	7,636	8,120	7,777	8,061
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	8,399	8,889	8,551	8,821

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料 8,061千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	291	219	0	301
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として奨励金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,495	1,458	0	2,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	全道大会出場者数	人	95	116	0	148
成果指標 2	全国大会出場者数	人	180	99	0	143

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,495	1,458	2,000	2,000
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	4,020	2,995	3,548	3,520

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	予選を経て、全道大会以上に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ 3,000円/人 全国大会出場：道外開催 10,000円/人、道内開催 5,000円/人 国際大会出場：10,000円～30,000円/人（大会内容、開催地によって変動）	奨励金 2,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ競技団体登録児童生徒

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	984	938	856	856
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。  
 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者（高校生以下）  
 ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者（高校生以下）  
 ・教育委員会賞：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者（中学生以下）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	審査会開催数	回	3	3	3
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	受賞者数	人	74	83	19	75
成果指標 2						

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	1,845	2,012	1,495	1,495
正職員人件費 (B)	千円	1,907	1,922	1,935	1,520
総事業費 (A+B)	千円	3,752	3,934	3,430	3,015

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	表彰楯・記念バッジ 1,315千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会人体育団体学校開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	クラブ登録数	団体	139	132	136	140
対象指標 2	クラブ登録人数	人	2,543	2,796	2,858	2,900

手段（事務事業の内容、やり方）

10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開放校数	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体力づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	学校開放利用人数	人	140,606	133,527	150,000	150,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1	87	268	263
正職員人件費 (B)		千円	2,669	2,690	2,709	1,520
総事業費 (A+B)		千円	2,670	2,777	2,977	1,783

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	清掃用具・スポーツ用品等消耗品 175千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

学校、自治会等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	学校、自治会等の数	団体	187	188	190	190
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**

地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。  
メニューは子どもから高齢者まで楽しめるものを多数用意している。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	スポーツ推進委員数	人	29	25	25	30
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	出前指導派遣者数	人	9	27	6	24
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	149	299	269	269
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	530	683	656	649

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	地域や学校、団体からの申込に応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 151千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名： 3市交流スポーツ大会開催事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、スポーツ部門ではパークゴルフ大会を3市持ち回りで開催する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	大会数	大会	1	1	0	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	市民の参加者数	人	78	54	0	70
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	80	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	387	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	467	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	パークゴルフ大会を3市持ち回りで開催している。令和3年度は、江別市での開催は無し（北広島市開催）。	なし

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略							
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般財団法人江別市スポーツ振興財団

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市スポーツ振興財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。  
 ・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	44,236	43,348	43,532	43,462
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加者数	人	7,906	7,847	7,600	8,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	44,236	43,348	43,532	43,462
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	44,999	44,117	44,306	44,222

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し、補助金を支出。	補助金	43,462千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋内体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	182,219	187,608	190,175	194,177
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	487,594	452,777	500,000	500,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	182,219	187,608	190,175	194,177
正職員人件費 (B)		千円	3,051	3,075	3,096	2,281
総事業費 (A+B)		千円	185,270	190,683	193,271	196,458

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	施設の管理運営を指定管理者へ委託する。	指定管理料	194,177千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ合宿誘致推進事業

スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

広くスポーツ団体等に江別市の魅力をPRするとともに、合宿時の送迎サービスの提供、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補助、市内宿泊施設利用時の宿泊料補助、江別特産品の提供など、道外からの合宿利用団体への支援により合宿誘致を推進する。  
「江別市スポーツ合宿誘致推進事業実施要綱」に基づき、合宿団体に対し、合宿の内容、実績に応じて補助等の支援をする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 合宿情報発信回数	回	0	0	1	2
活動指標 2 道外へのPR活動回数	回	0	0	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ合宿の誘致、支援活動を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心度を高めるとともに、トップアスリートなどとの交流により、ハイレベルなスポーツ技術の向上と市民スポーツ活動の活性化を図る。また、江別市のイメージアップによる誘客と人的交流を促進するなど、シティプロモートに資する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 合宿を行った団体数（道外）	団体	10	14	1	10
成果指標 2 市民との交流事業数	回	10	14	1	10

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	2,710	1,929	2,829	2,482
正職員人件費 (B)	千円	9,152	6,150	6,193	6,082
総事業費 (A+B)	千円	11,862	8,079	9,022	8,564

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>道外からのスポーツ団体への送迎サービス</li> <li>道立野幌総合運動公園等の市内施設使用料の補助</li> <li>市内宿泊団体への市内宿泊施設利用料の補助</li> <li>シティプロモートのための市特産品提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎バス借上げ料 1,097千円</li> <li>道立野幌総合運動公園等施設使用料補助 440千円</li> <li>市内宿泊施設利用料補助 730千円</li> <li>特産品提供経費 215千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	市内でのスポーツ合宿に関する情報を定期的に市内の大学や関係団体に発信することで、これまで以上に合宿支援制度の認知度向上を図る。

事業名：総合型地域スポーツクラブ支援事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

総合型地域スポーツクラブのPRを支援し、市民に情報提供を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	PR支援回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

総合型地域スポーツクラブの活動が活性化することにより、市民のスポーツの機会が充実する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	クラブ数	団体	3	3	3	3
成果指標 2	クラブ会員数	人	703	651	650	650

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	381	384	387	380

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	市内の総合型地域スポーツクラブを広報等で紹介し、市民に情報提供を行う。	人件費事業のため予算措置なし

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：はやぶさ運動広場移転事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

令和2年度 現況測量・基本設計・実施設計  
令和3年度 建設工事

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	事業費	千円	0	0	1,540	81,900
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

はやぶさ運動広場の少年野球場と多目的広場を都市と農村の交流センターに移転整備する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	移転整備された施設数	施設	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	1,540	81,900
正職員人件費 (B)		千円	0	0	3,096	1,520
総事業費 (A+B)		千円	0	0	4,636	83,420

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	少年野球場の造成工事の実施	造成工事費	80,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：オリンピック・パラリンピック推進事業 スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

オリンピックに出場するトップアスリートの大会事前合宿を受け入れる。  
江別市に縁のあるオリンピック・パラリンピアンを応援するための、応援看板等を設置し市民の意識高揚を図るとともに、パブリックビューイングを実施する。  
パラリンピック採火イベントを実施する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 イベント開催数	回	0	0	0	2
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツの魅力や楽しさを再認識するとともに、市民スポーツ活動の活性化を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 参加者数	人	0	0	0	150
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	1,000	12,694
正職員人件費 (B)	千円	0	0	5,806	8,742
総事業費 (A+B)	千円	0	0	6,806	21,436

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・大会事前合宿の受入れ ・江別市にゆかりのある選手の応援看板等の設置 ・江別市にゆかりのある選手が出場する競技のパブリックビューイングの実施 ・パラリンピック採火イベントの実施	・大会事前合宿の受入れ経費 11,178千円 ・応援看板等の設置経費 396千円 ・パブリックビューイングの実施経費 671千円 ・パラリンピック採火イベントの実施経費 449千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	昨今の新型コロナウイルス感染症への対策として、オリンピック等に参加する選手らの事前合宿を万全な体制で受け入れるため、国の基準を満たす感染防止策に係る経費を計上した。

事業名： あけぼのパークゴルフ場改修整備事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略	
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策	
開始年度	令和 3年度	終了年度	—
	区分1	新規	区分2 単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	0	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

令和3年度 現況測量・実施設計  
令和4年度 増設工事

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 事業費	千円	0	0	0	6,200
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

あけぼのパークゴルフ場のコースを増設（1コース9ホール）し、市民スポーツの環境向上と健康増進を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 増設されたホール数	ホール	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	6,200
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	2,281
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	8,481

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 現況測量・実施設計の実施	委託料 6,200千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	市民スポーツ環境向上と健康増進のため、あけぼのパークゴルフ場のコース増設を進める。



事業名：小中学生国内交流研修事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

国内交流研修訪問団（小中学生、引率者）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	16	16	0	16
対象指標 2	土佐市からの研修訪問人数	人	16	15	0	16

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・友好都市土佐市との相互交流  
派遣：＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市の概要学習、交流会プログラム企画等  
＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学  
受入：＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
- ・事業集録作成
- ・交流研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を支出する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,232	1,153	0	1,095
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性が養われるようになる。また、異なる文化等に触れることで、自分の住む地域を見つめ直し、江別市への理解を深めて郷土愛を育む。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	3,535	3,693	0	3,903
成果指標 2	訪問した学校の生徒数	人	787	713	0	949

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,563	1,530	1,535	1,515
正職員人件費 (B)		千円	3,432	3,459	3,483	2,281
総事業費 (A+B)		千円	4,995	4,989	5,018	3,796

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	＜派遣＞事前研修、実地交流研修の実施 ＜受入＞体験入学、施設見学 ＜事業集録作成＞	・引率教諭、同行職員旅費 420千円 ・研修訪問団への補助金 1,095千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

海外交流研修訪問団（中学生、引率者）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	8	8	8	8
対象指標 2	グレシャムからの訪問人数	人	6	7	7	7

手段（事務事業の内容、やり方）

○姉妹都市グレシャム市との相互交流を行う。  
 ・派遣：＜事前研修＞8月下旬～11月下旬／グレシャム市・江別市の概要学習、語学研修、交流会プログラム企画等  
           ＜実地研修＞12月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習  
 ・受入：＜グレシャム市訪問団受入＞2月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習  
 ・事業報告書作成  
 ○研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,508	1,397	0	1,227
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	9	9	0	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

グレシャム市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚が養われるようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	1,075	1,222	0	1,284
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,277	2,204	2,050	2,028
正職員人件費 (B)		千円	3,432	3,459	3,483	2,281
総事業費 (A+B)		千円	5,709	5,663	5,533	4,309

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	＜派遣＞事前研修、実地研修の実施 ＜受入＞体験入学、施設見学 ＜事業収録作成＞	・引率教諭旅費 399千円 ・国際交流員旅費 385千円 ・研修訪問団への補助金 1,227千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	